

房総の文化財

VOL. 61



土偶(山武姥山貝塚)

【遺跡紹介】

- ◆ 山武郡横芝光町 木戸台遺跡
- ◆ 山武郡横芝光町 山武姥山貝塚
- ◆ 山武郡芝山町 境砦跡

【出土遺物公開事業】

- ◆ 令和3年度の報告「らくがく縄文館—縄文土器のマナビを楽しむ—」
- ◆ 令和4年度の予告「柏北部東地区の遺跡展」

遺跡紹介

圏央道の遺跡 (横芝光町・芝山町)

首都圏中央連絡自動車道(略称:圏央道・大栄～横芝)建設に伴って調査が行われている遺跡は35遺跡に及び、成田市、多古町、横芝光町、芝山町の1市3町に所在しています。現在まで33遺跡の調査が行われ、多くの成果が得られています。木戸台遺跡、山武姥山貝塚、境峯跡の3遺跡を紹介します。

縄文時代の貯蔵穴 -木戸台遺跡-



SK256 遺物出土状況



袋状土坑想像図



SK25 貝層

木戸台遺跡は、太平洋に注ぐ栗山川の支流である高谷川から南西にのびた、小さな谷に面した台地上にある遺跡で、平成29年度から圏央道建設に先行して発掘調査が進められ、縄文時代中期中頃と古墳時代後期のムラの跡が見つっています。縄文時代のムラは台地上だけではなく、谷を埋めた土の中まで広がっています。

縄文時代中期中頃のムラからは住まいである竪穴住居と、クリなどの堅果類やヤマイモなどの植物性食料を貯蔵したと考えられる穴が見つっています。当財団が発掘調査を行った千葉市有吉北貝塚、市原市草刈貝塚、柏市小山台遺跡など千葉県を代表する中期中頃の下総台地のムラは、中央広場を囲むように外帯には竪穴住居跡が、内帯には貯蔵穴が群集して環状に配置されています。一方、木戸台遺跡は台地がそれほど広くないためか、ムラは環状とならず、同じ時期の竪穴住居跡と貯蔵穴が近接した位置に作られ、全体に広がっているようです。

SK256は他の遺構と切り合っていて全容がわかりませんが、イラストのように開口部が小さく、底部に向かって袋状となる貯蔵穴と思われます。このような形状の貯蔵穴は、開口部に蓋をしておけば温湿度が一定に保たれ、堅果類やヤマイモなどの貯蔵に適していたと考えられています。袋状の貯蔵穴は縄文時代早期に北海道道南から北東北に出現して次第に南下し、中期になって北関東を経由して東関東でも作られるようになります。木戸台遺跡の袋状の貯蔵穴は、千葉県では最も古いものの一つに数えられます。また、貯蔵穴からは土器がまとまって出土したり、貝殻がまとまって捨てられていたりします。これらは使わなくなった貯蔵穴に不要になったものを捨ててムラの環境を整えようとした、縄文人の意識が表れているのかもしれません。

縄文時代の祈りの道具 -山武姥山貝塚-

山武姥山貝塚は、太平洋に面した九十九里平野へ入る谷によって、複雑に周囲を刻まれた台地上にある遺跡です。圏央道建設に先行した発掘調査は、貝塚部分を除いた遺跡西側を対象に、令和2年度から開始されました。山武姥山貝塚は過去の調査成果から、千葉県を代表する縄文時代後期から晩期を主体とした大きな遺跡になると考えられます。

縄文時代後期中頃以降になると、土偶や石製品など縄文人の精神世界に関わるいろいろな道具が増えるようになります。写真の土偶は後期中葉加曾利B式の山形土偶と、後葉の安行式のミミズク土偶の両方の特徴を併せ持っています。具体的にお話しすれば、粘土粒に線を入れたつり目、環状の耳、外に反った手先、腹部の膨らみなどの表現や、後頭部のこぶ状の突起などは山形土偶の特徴で、顔の輪郭や体軀の隆起線、乳房の微妙な表現、多用される連続刺突文はミミズク土偶の特徴と言えます。

石製品では彫刻を施した石剣が目立ちます。写真左は頭部にI字文を連続的に彫り込んでいる緑泥片岩製の石剣です。写真右は頭部の横に引いた沈線の間に、斜めの沈線を充填した粘板岩製の石剣です。火を受けており、火を伴った祈りに使用された可能性があります。



土偶表面・裏面



石剣

木戸台遺跡

山武姥山貝塚

BC(紀元前)

旧石器時代

縄文時代

弥生

約30,000年前

約12,000年前

約2,300年前



出典：国土地理院GIS地図に加筆

尾根上の古代集落 -境砦跡-

芝山町境砦跡は、太平洋に注ぐ栗山川の支流である高谷川へ延びる支谷の谷頭を間近に臨む狭長な尾根上に位置しています。発掘調査は、斜面部を含む9,546㎡を対象に令和3年5月1日から行われ、古墳時代後期～平安時代の竪穴住居跡22軒と土坑などの他、区画溝などの中世城郭の一部が検出されました。

本遺跡の主体となる奈良・平安時代の集落は、谷を挟んで対峙する多古町千田の台遺跡と芝山町山の台遺跡でも調査されており、谷頭を囲むように同時期の集落が展開するような景観を示しています。この中で注目されるのが、竪穴住居跡のカマド内の遺物出土状況です。8世紀後半のSI015の煙道部からは、3個体の甕が意図的にまとめて置かれた状態で出土しています。また9世紀中頃のSI012では、支脚が立ったままの状態で見つかっています。



SI015 煙道部内遺物出土状況



SI012 カマド内遺物出土状況

航空写真（北から）

令和3年度出土遺物公開事業 **らくがく 縄文館** ー縄文土器の **マナビ** を楽しむー

令和3年度出土遺物公開事業では、「縄文土器を楽しく学ぶ(=らく・がく)」をテーマに展示を行いました。展示の構成は、「第1章 縄文土器の美妙」、「第2章 縄文土器のライフサイクル」、「第3章 土器型式と標式遺跡」、「第4章 土器型式の移り変わり」、「第5章 土器型式から見る地域性と文化の広がり」という五つの章からなり、「縄文土器のマナビ」の一端をご紹介します。巡回した県内3館の博物館では、様々に造形美を追求した縄文土器が勢ぞろい。展示にあわせて実施した展示解説会や講座、講演会、ワークショップ「土器のペーパークラフトをつくろう」などもご好評いただき、たくさんの方々に千葉の縄文土器の魅力をぎんぎんに感じていただきました。



展示図録



展示ミニ図録



講演会

【展示開催館と期間】

- 市立市川歴史博物館
令和3年7月24日(土)～9月12日(日)
 - 八千代市立郷土博物館
令和3年10月16日(土)～12月5日(日)
 - 袖ヶ浦市郷土博物館
令和4年1月15日(土)～2月27日(日)
- ### 【講演会】
- 千葉県立中央博物館講堂
令和4年1月22日(土)

AD(紀元後)

時代



らくがく縄文館

みんなのランキング

結果発表

らくがく縄文館では、展示をご覧いただいた皆様にお気に入りの縄文土器を選んでいただきました。投票の結果、なんと6点もの縄文土器が同着1位に！たくさんご応募いただきありがとうございました。

開催館の所蔵資料が堂々のランクイン！！
全国的にみても希少な**舟形**をした片口注口土器。
※普段は八千代市立郷土博物館で展示しています。



八千代市
ヲサル山遺跡
(八千代市教育委員会)



柏市
大松遺跡
(千葉県教育委員会)

注目度 **No. 1**！！
度肝を抜く**大きさ**と、
隆帯文と**沈線文**の
織り成す**文様美**に
注目が集まりました。



船橋市
ユルギ松遺跡
(船橋市教育委員会)

動物意匠部門 **No. 1**！！
県内では珍しい**動物意匠文**。
サンショウウオと**カエル**
は幅広い世代に人気あり。



佐倉市
井野長割遺跡
(佐倉市教育委員会)

異形土器部門 **No. 1**はこの3点。
香炉形土器と**異形台付土器**。
用途がわからないぶん、見る人の**想像力**をかきたてたのかも。



鎌ケ谷市
中沢貝塚
(鎌ケ谷市教育委員会)

令和4年度出土遺物公開事業の予告

テーマ 柏北部東地区の遺跡展

平成10年から約20年にわたって発掘調査を行った、柏北部東地区の調査成果を、旧石器時代・縄文時代・古墳時代を中心に展示します。各時代の特徴について例を挙げると、縄文時代は「貝塚のあるムラ・ないムラ」古墳時代は「玉つくりのムラ」となります。期間中に展示解説会・ワークショップ・講演会等を予定しています。ご期待ください！

【展示開催館と期間】

- 柏市郷土資料展示室
令和4年7月23日(土)～令和4年9月18日(日)
- 船橋市立飛ノ台史跡公園博物館
令和4年10月15日(土)～令和4年11月27日(日)
- 千葉県立中央博物館
令和5年1月21日(土)～令和5年2月26日(日)

【講演会】(予定)

- 千葉県立中央博物館講堂
令和5年2月ころ予定

縄文土器×3D

千葉県教育振興財団では、普及活動の新しい試みとして、「らくがく縄文館」に出展した資料の一部を3Dで公開しました。下の写真はそのうちの1つです。ただの写真のようですが、実際には数十枚、数百枚の写真画像から作成された3次元画像です。普段は観察することができない土器の裏側や底面等も、3Dであれば360度の全方向から鑑賞することができます。この機会に是非ご覧ください。

スマホやPCで
操作すると
くるくる回転するよ



佐倉市吉見台遺跡
(佐倉市教育委員会)



※展示図録・ミニ図録・講演会要旨とともに、縄文土器の3D画像を当財団ホームページでご覧いただくことができます。

※掲載画像は予告なく更新・削除することがあります。